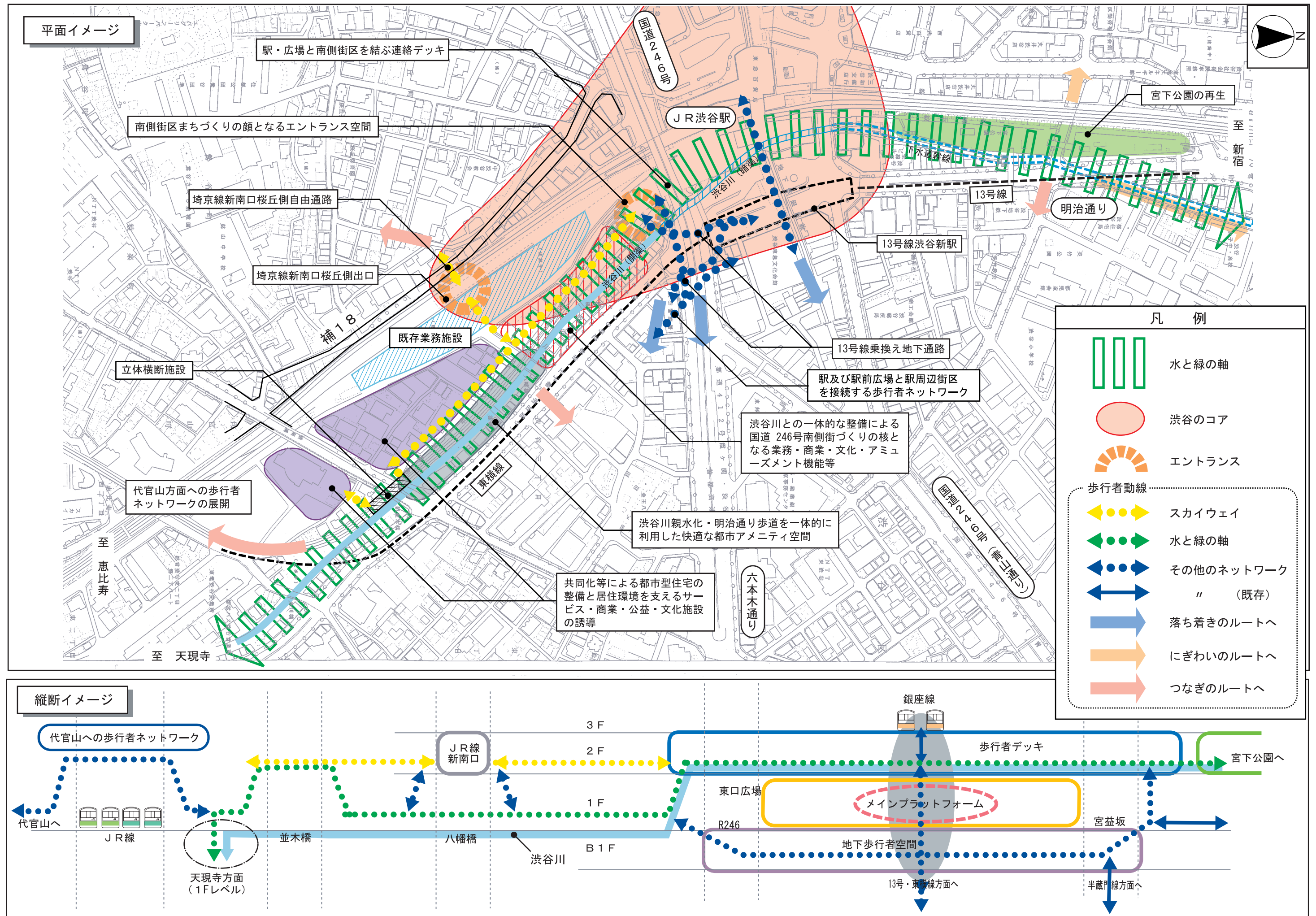




(4) 水と緑の軸の概略整備イメージ

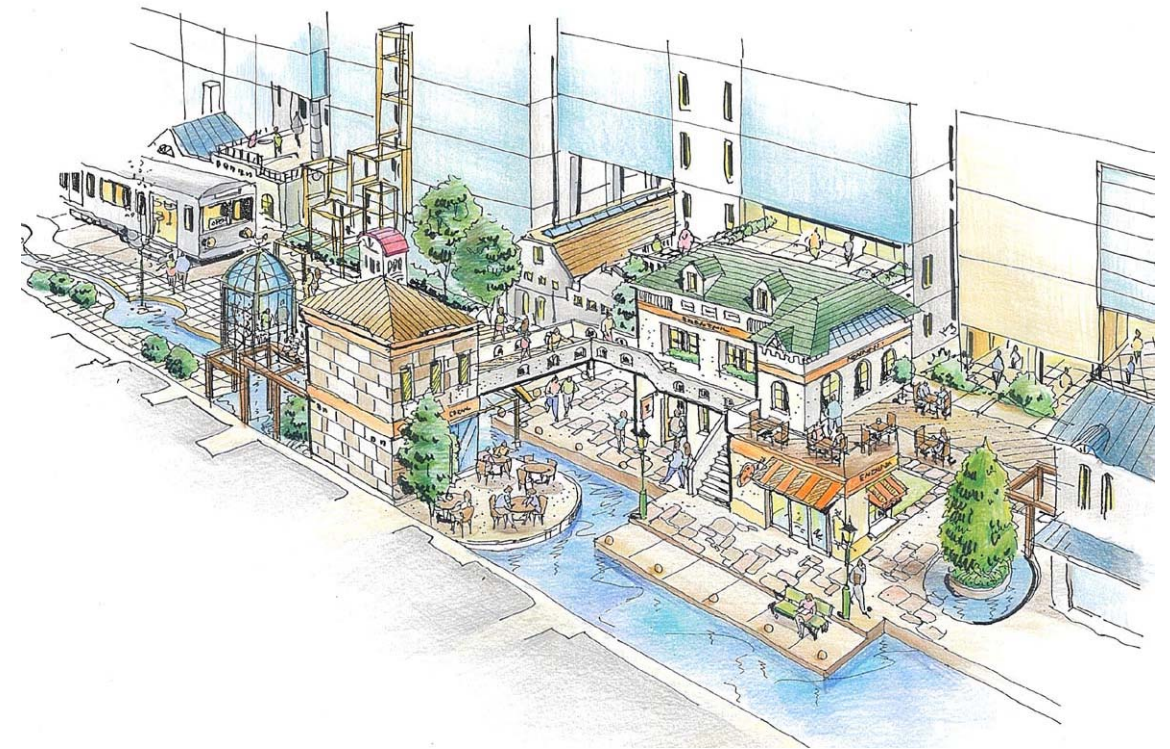
①コア～宮下公園側

- ア コア部分については、東口広場における交通結節機能の確保、国道 246 号・宮益坂等の横断部における連続性の確保等を踏まえて、デッキレベルにおける親水機能の確保を図るものとする。
- イ 宮益坂を横断するデッキを宮下公園まで連続させることにより、コアと同じレベル(高さ)での一体的な快適空間の創出を図るものとする。
- ウ 宮下公園については、神宮通公園や美竹公園といった近隣の公園との連携を図りつつ、更に北側へと続く明治神宮や代々木公園への接続を図っていく。

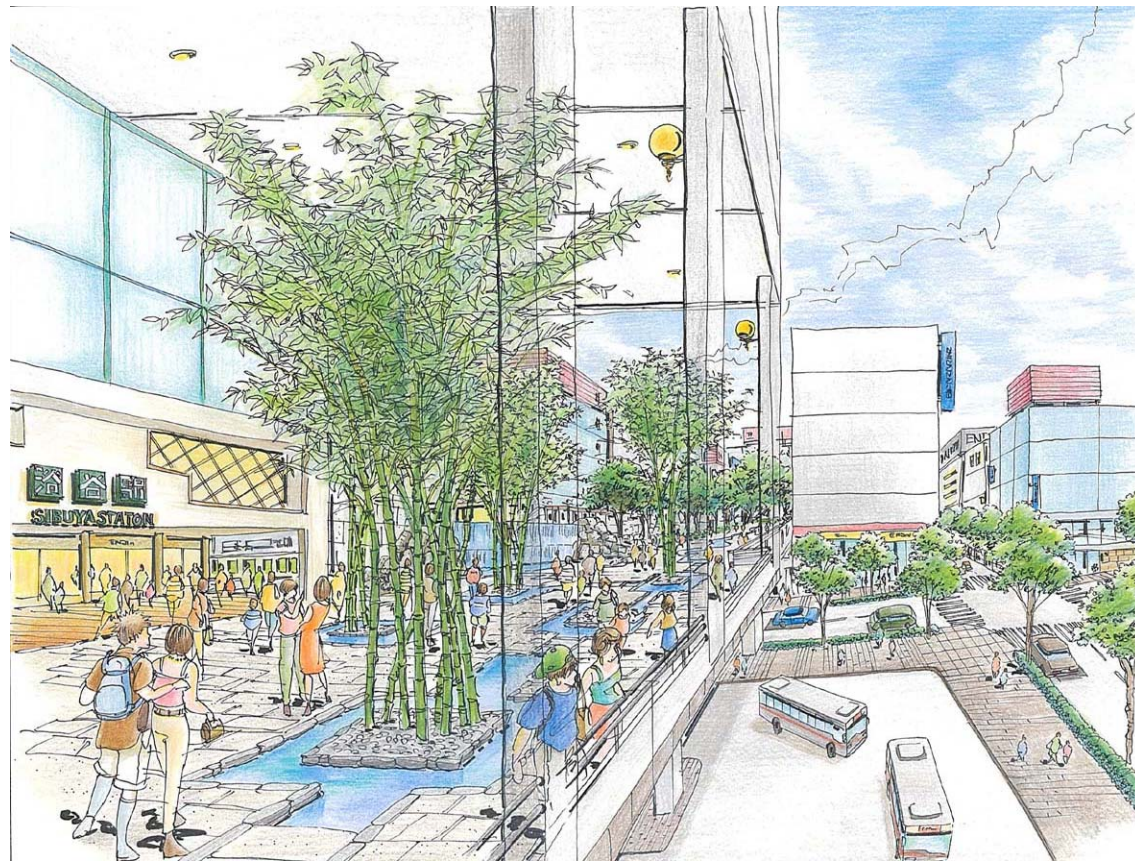
②国道 246 号南側

- ア 国道 246 号南側では、治水機能を確保しつつ、2 層化等により親水機能を確保し、河川を線的空間として活用を図り、地上レベルを中心に整備する。
- イ コア側の区間については、カフェテリア・路面店等と一体的に空間整備を推進することにより、都市型の親水空間としての活用を図るものとする。
- ウ 八幡橋より南側の区間については、コア側に比較して自然的な要素を高め、様々な年代の人が触れ合うことのできる都市における憩いの空間としての整備を推進するとともに、コアから代官山方面への歩行者ネットワークの形成を図るものとする。
- エ 並木橋・JR 線の横断部については、スカイウェイネットワーク等を利用することにより、歩行者動線の連続性を確保する。

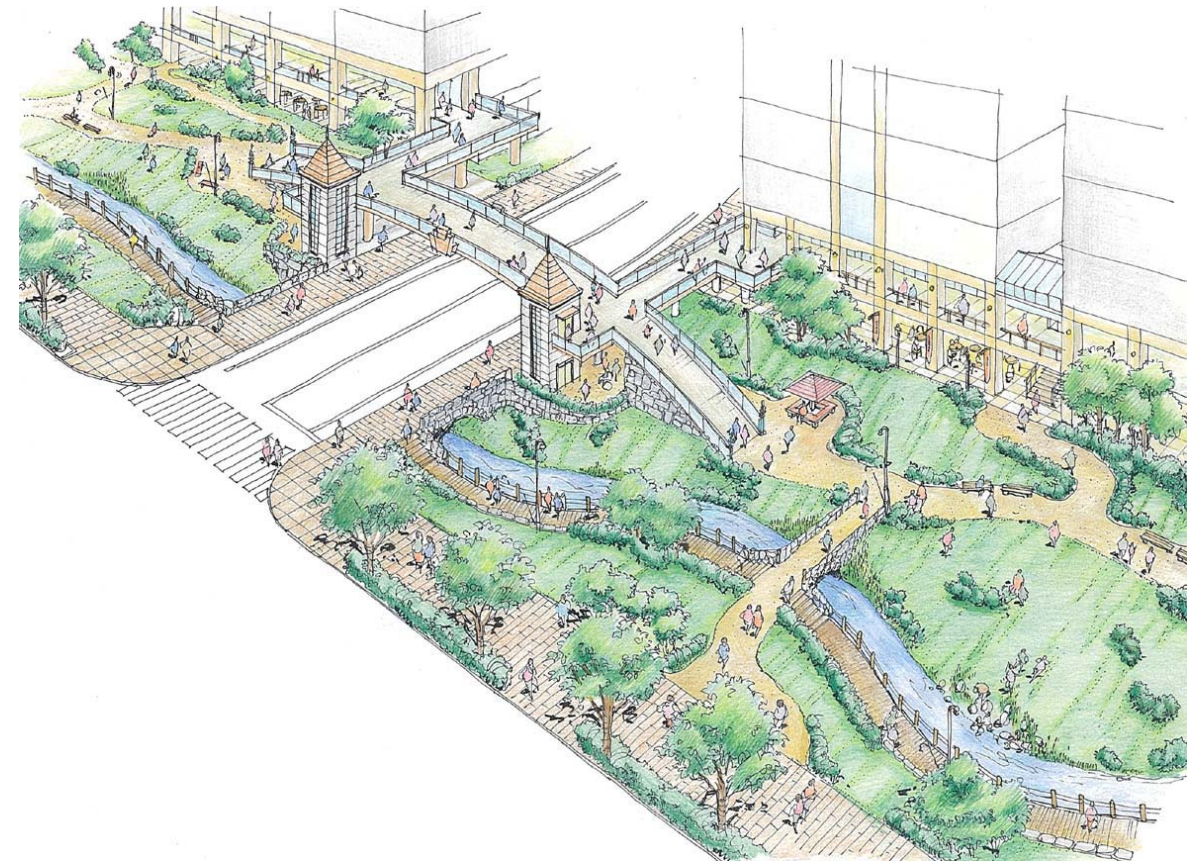
【水と緑の軸イメージ（コア側区間）】



【水と緑の軸イメージ（駅付近から宮下公園方面）】



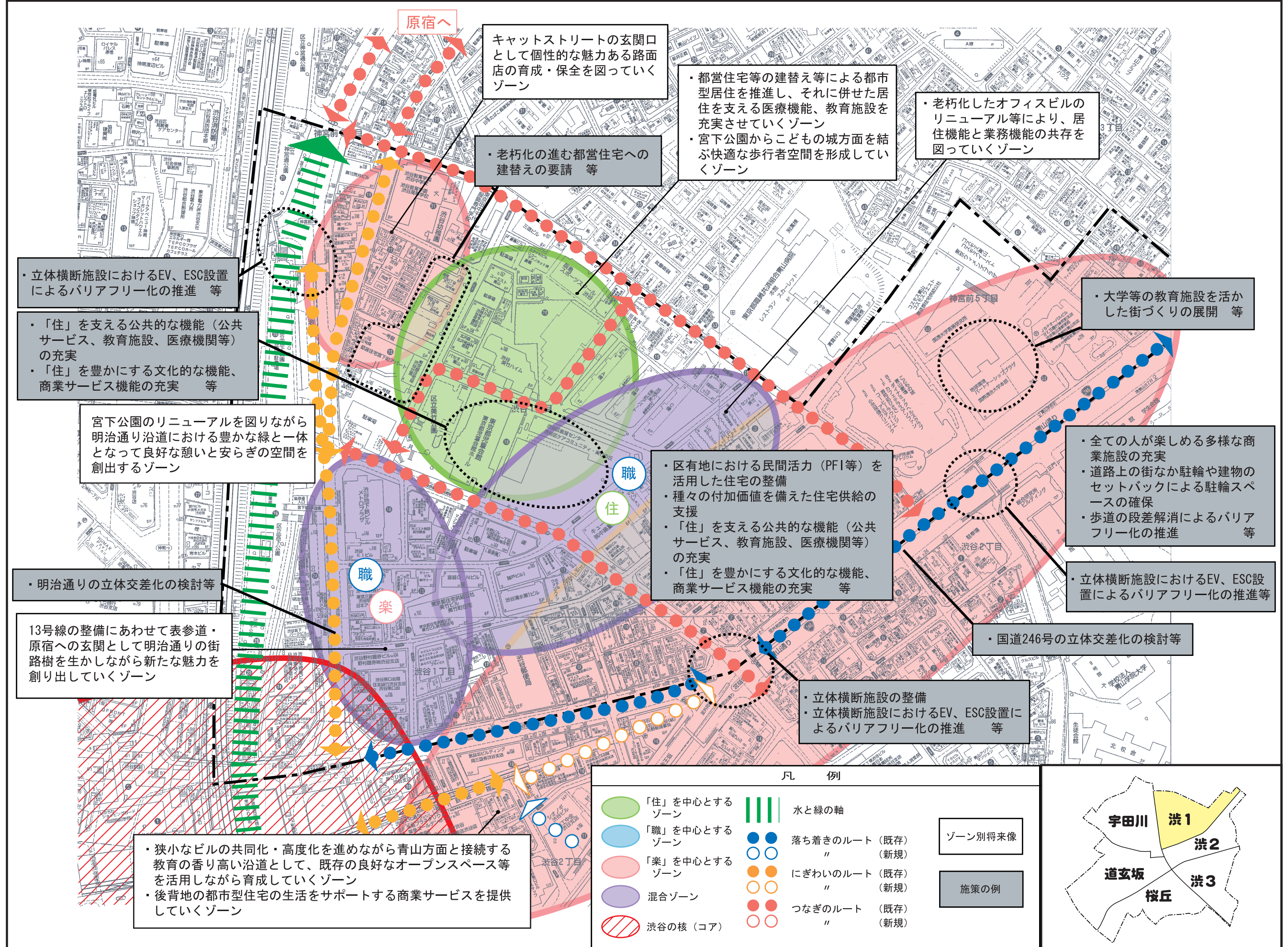
【水と緑の軸イメージ（並木橋付近）】

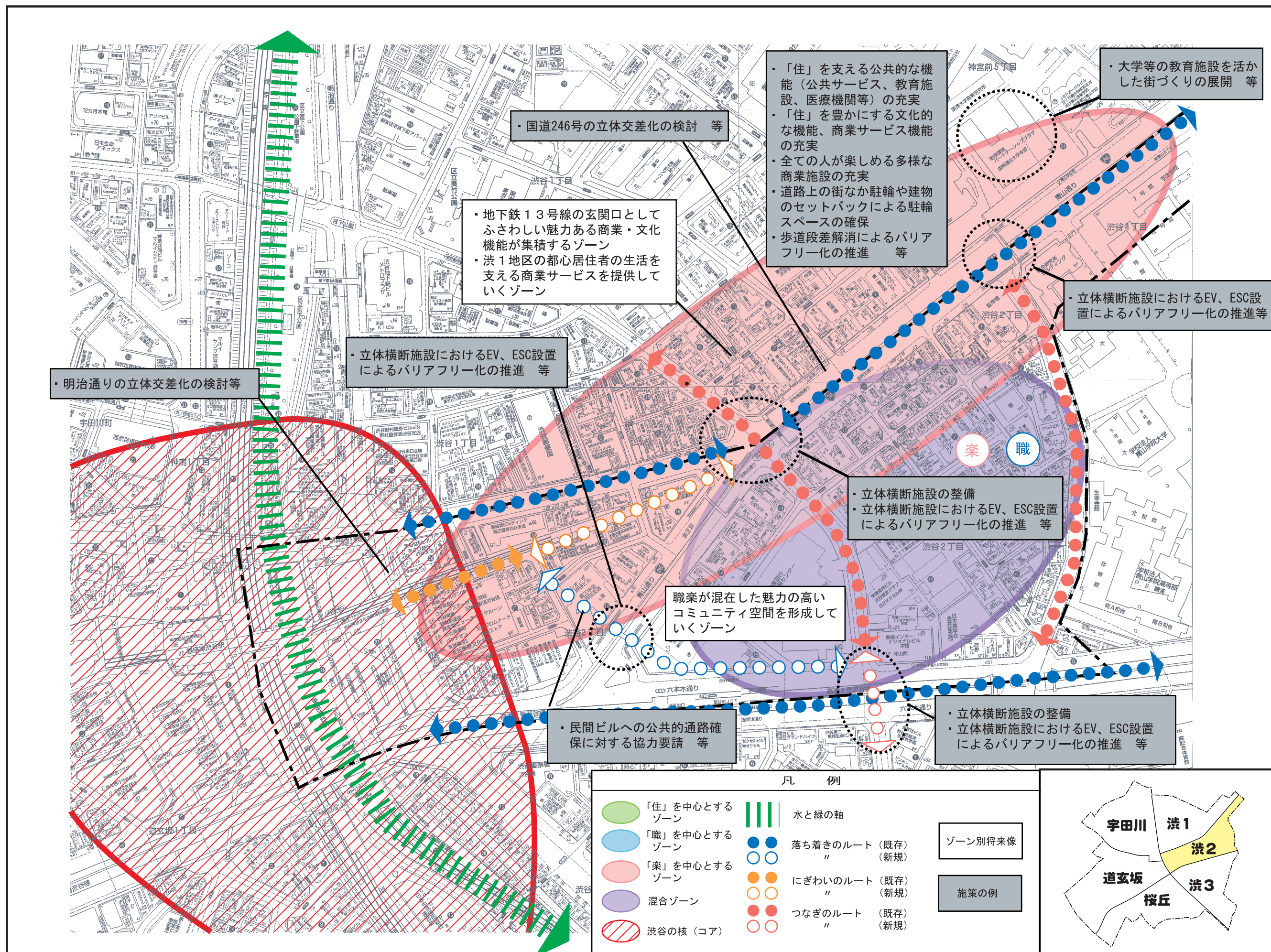


5) 外周エリアの将来像

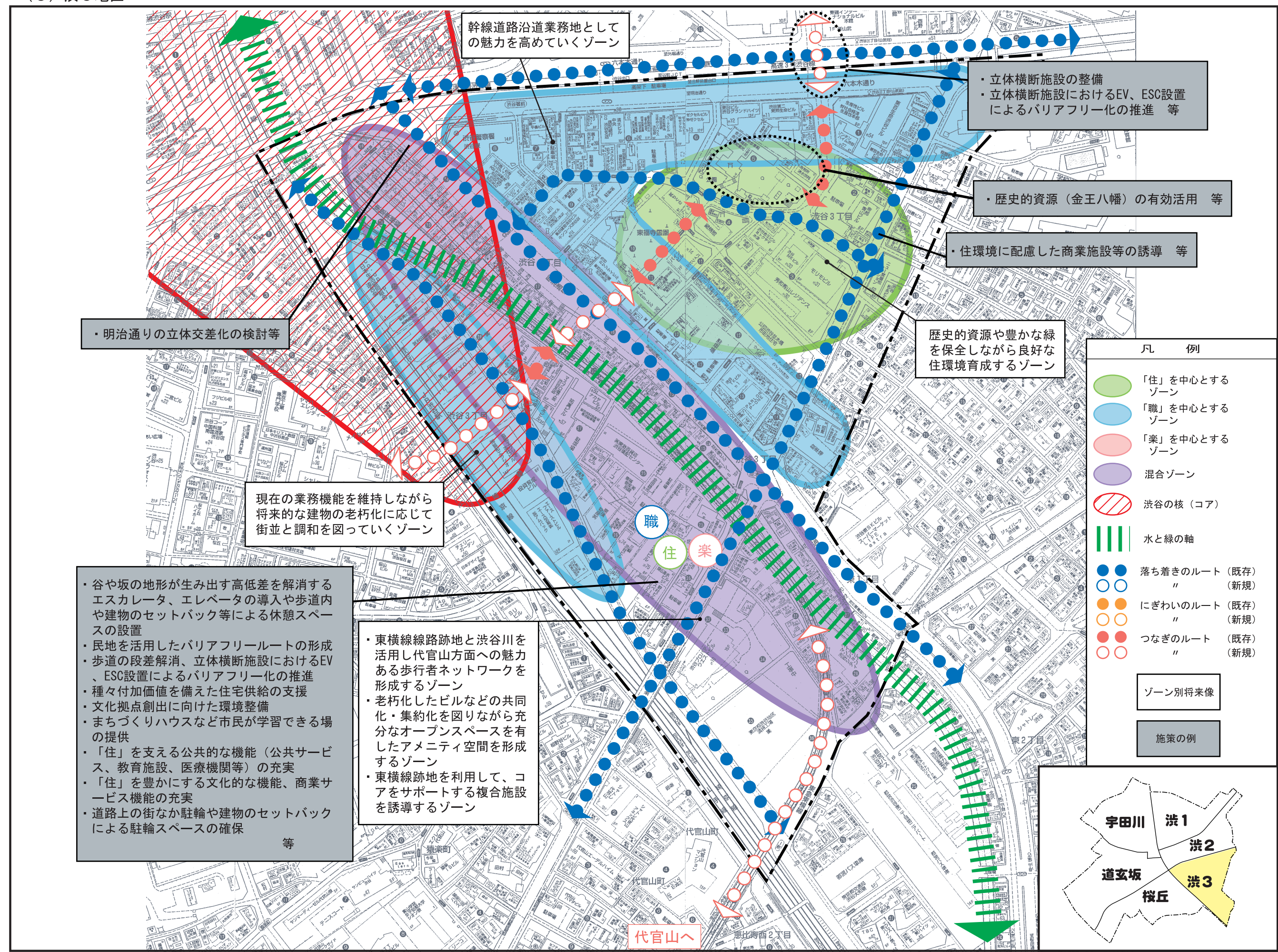
(1) 渋谷1地区

※歩行者ルートの形成、組織づくり、ルールづくり、しくみづくり等地区全体に関わる施策の例については、ここでは明記しない。

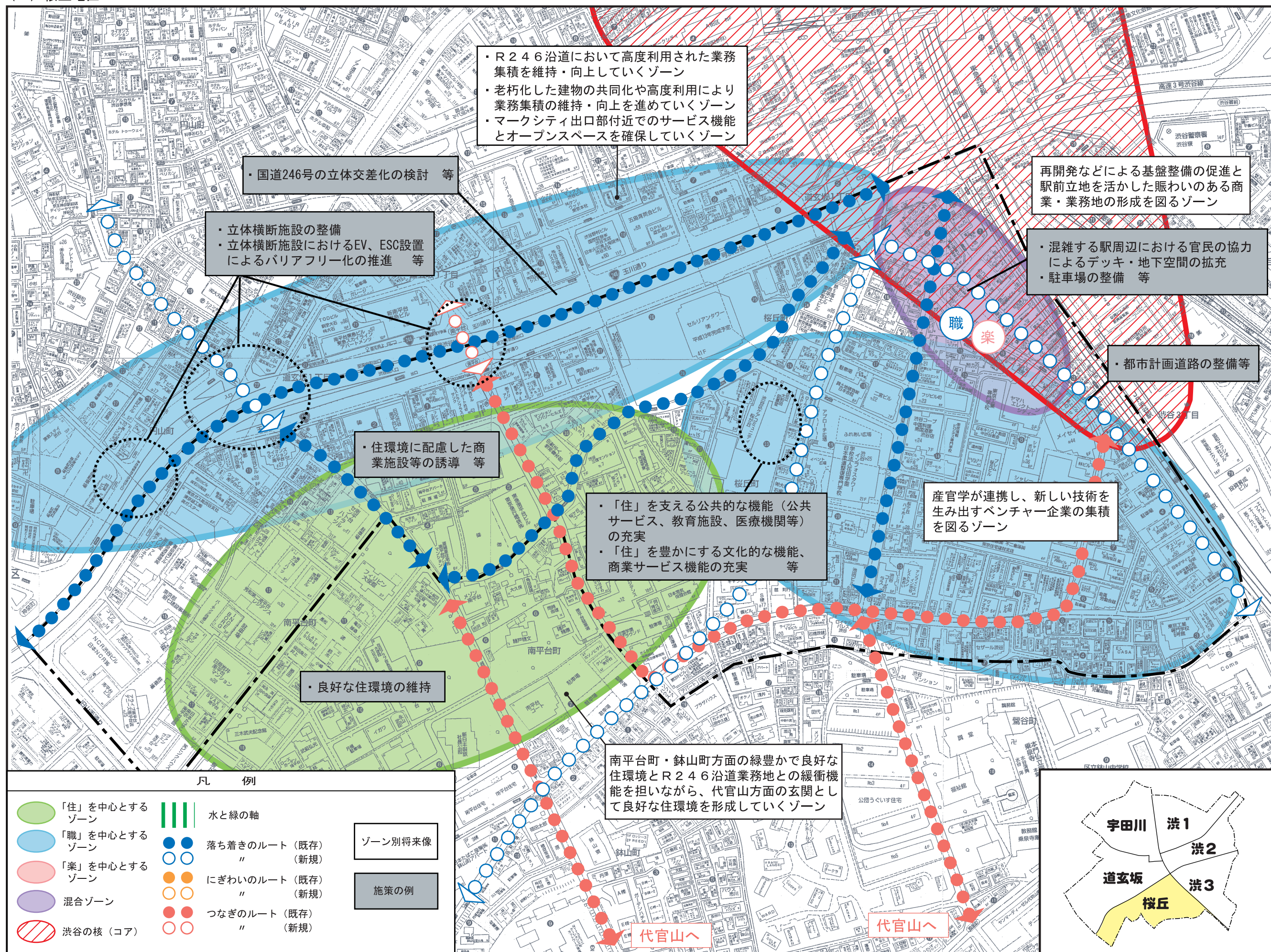




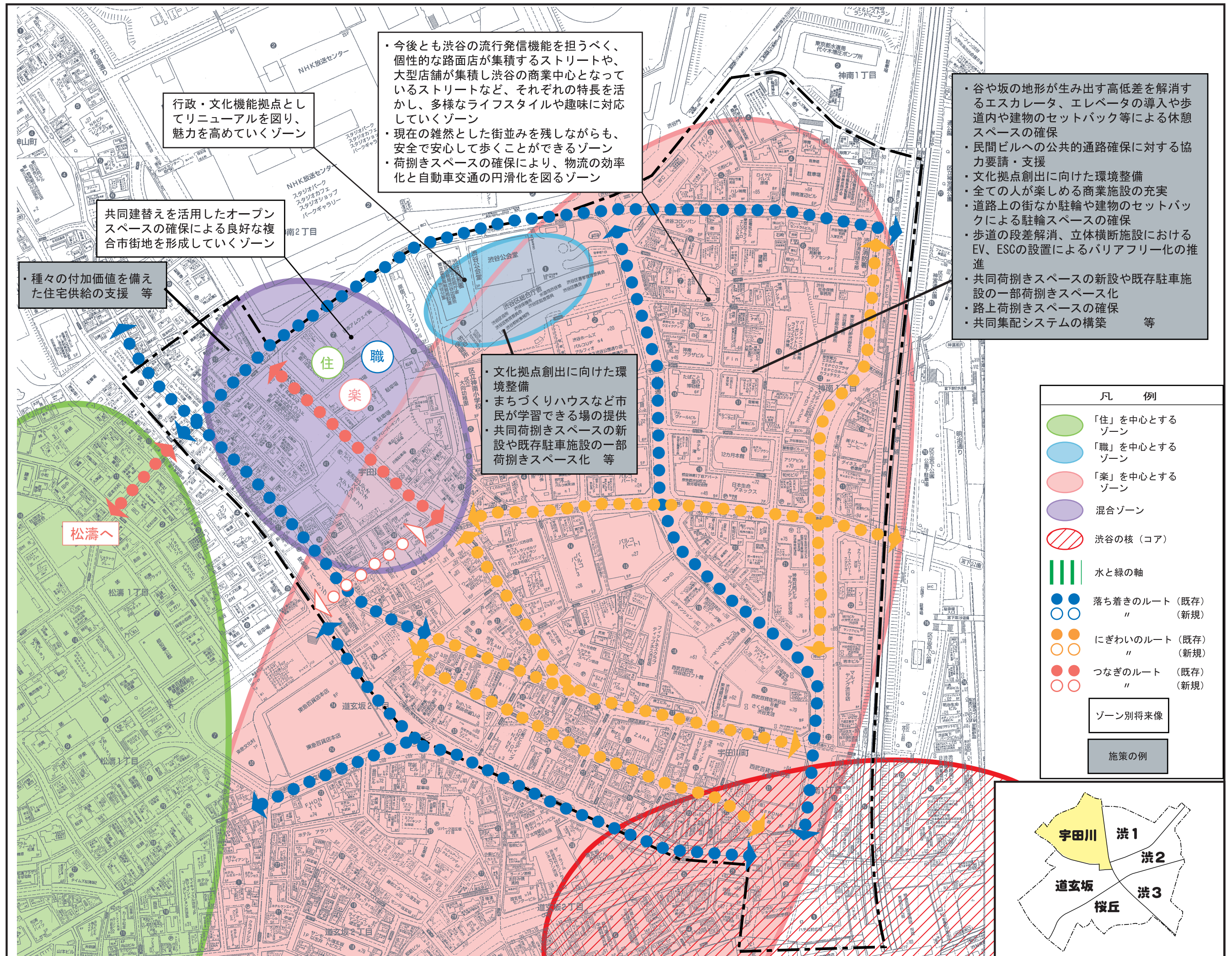
(3) 渋谷3地区



(4) 桜丘地区







6. 個別課題への対応

(1) 自転車対策について

① 基本的な考え方

- ア 自転車は、環境や健康面において、その役割が高まっている一方、渋谷駅周辺においては、多くの放置自転車が見られる。
- イ 現在、渋谷区の大規模施設等の建設においては、開発者の判断により、自転車駐車場の整備が委ねられている状況である。
- ウ 従って、自転車駐車場の附置について検討し、商業施設等の新たな建築物については、必要となる自転車駐車場の整備を誘導していくことが必要である。
- エ また、駅等の渋谷駅周辺においては、自転車駐車場の整備に努め、放置自転車の撤去を図り、安全で快適に歩ける歩行者空間を創出していくものとする。
- オ 更に、行政や商店主等が協働して自転車利用に対するモラルの向上を啓発していくことが重要である。

② 渋谷駅周辺における自転車対策

a. 駅直近部（コア付近）

- ア 自転車需要としては、鉄道端末利用に加え、駅直近の商業施設への利用手段が多い。
- イ 現在、宮下公園協での自転車駐車場を整備中である。
- ウ 但し、これだけでは十分な供給量を確保できないため、建物の改築や増築などと併せて、付置義務の条例化等による必要駐車台数の確保を誘導していくものとする。
- エ 更にコアの中にも、駅利用者並びにコアの建物利用者のための、地上を中心とする利便性の高い箇所に、駐輪スペースを確保していく。

b. 路面店が集積するコアの外

- ア 店から店への移動など、身近な交通手段としての自転車需要が多い。
- イ 但し、小規模な店舗が多いため、建物側が単独で自転車駐車場を確保することは現実的には困難である。
- ウ 従って、道路上に「街なか駐輪施設」として、小規模の駐輪スペースを各所に配していくことが有効な手法と考えられる。
- エ なお、建物改築時におけるセットバック空間や既存の建物のデッドスペースなどを活用し、建物利用者に対する駐輪スペースの確保に努めていくことも重要である。

③ その他（原付・自動二輪等への対応）

- ア 渋谷駅周辺地区においては、路上の原付・自動二輪の放置による自動車交通や景観への影響が大きな課題となっている。
- イ 放置自転車対策の対象は、原付までであり、自動二輪等は含まれていない。
- ウ また、違法駐車対策においても、自動二輪の撤去等は十分には実施されていないことから、街なか駐輪施設や駐輪場・駐車場整備等の対策に自動二輪への対策も併せて検討していくことが必要である。

【街なか駐輪施設イメージ】

